

平成27年12月18日（金）13：30～

交通政策審議会海事分科会第72回船員部会

【成瀬専門官】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから交通政策審議会海事分科会第72回船員部会を開催させていただきます。

事務局を務めさせていただきます海事局船員政策課の成瀬でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、委員及び臨時委員総員18名中10名のご出席となりますので、交通政策審議会令第8条第1項及び船員部会運営規則第10条の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

次に配布資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をごらんください。

上から、議事次第、配布資料一覧、その次からが議題関係の資料となります。資料の番号は、縦置き資料は右上に、横置き資料は左上に記載してございます。

まず、資料1として、「交通政策審議会への諮問について 諮問第233号「船員派遣事業の許可について」というものが2枚になります。その参考資料として、資料1-2が3枚ということで、3枚目がA3判を折りたたんだものになっております。こちらは委員限りの資料となります。

さらに、議題とは別に、「無料の船員職業紹介事業者一覧」というものがホチキスどめで2枚ついているかと思えます。

資料は以上ですが、行き届いておりますでしょうか。

以上で、資料の確認を終わらせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。野川部会長、司会進行をお願いいたします。

【野川部会長】 それでは、本日は、若干いつもより人口密度が低いようですが、本年最後の船員部会を開始いたします。

まず、議題1の「船員派遣事業の許可について」でございますが、本件につきましては、個別事業者の許可に関する事項であり、公開することにより当事者等の利益を害するおそれがありますので、船員部会運営規則第11条ただし書の規定により、審議を非公開とさせていただきます。

マスコミ関係の方をはじめ、関係者以外の方はご退席くださいますようお願いいたします。

す。

(関係者以外退席)

【野川部会長】 ありがとうございます。

それでは、これで本日の予定された議事は終了いたしました。ほかにございますでしょうか。よろしくお願いいたします。

【千葉雇用対策室長】 先月の部会で立川委員からご質問がありました平成27年12月1日時点での無料職業紹介事業の許可及び届け出事業者の一覧表を提示していただきたいというご要望がございましたので、本日お配りしております。

また、船員職業紹介事業は原則として政府以外の者が行うことはできないということになっておりますが、例えば船舶所有者を代表する団体とか船員を代表する団体とか、あるいは公益を目的とする団体等が営利を目的としないことを条件に取り扱う職種の範囲とその他の業務の範囲を限定して許可されることがございますので、この許可になっております。

したがって、こういった資料をホームページ等で積極的に公表するということは現在は特段考えておりませんが、本日、委員の皆さんにご承知いただきたくお配りさせていただきました。

【野川部会長】 ありがとうございます。いかがでしょうか。

【立川臨時委員】 資料、どうもありがとうございます。それで、非常に微妙な言い回しだったんですが、ホームページでの公開は積極的にということですが、ここで公開されたということは、例えば組合の組織内や業界の中での公開というのは問題ないという理解でよろしいのでしょうか。

【千葉雇用対策室長】 船員部会の資料は公開されますので、その範囲の中でお使いいただくなら結構だと思いますけれども、一般の方に積極的に周知をしないという意味でございます。

【立川臨時委員】 追加で1点。船員部会の資料は国交省のホームページで公開されますね。その中には含まれるのでしょうか。

【千葉雇用対策室長】 いや、含まれます。

【立川臨時委員】 含まれるんですね。わかりました。

【野川部会長】 船員部会の資料としてのみ公開されると。位置づけが違うだけで、率直に言えば、皆さんに言えば誰でも見られるということです。ただ、どこに公開するかというのはそれなりの位置づけがありますので、そういう意味でこれは船員部会の資料としてのみ公開するということです。

ほかにございますでしょうか。

【立川臨時委員】 部会長、その他でよろしいですか。

【野川部会長】 立川委員、どうぞ。

【立川臨時委員】 2点確認をさせていただければと思うんですが、以前から船員の確保・育成ということで、具体的には、外航海運においてはその検討委員会が開かれて、もう既に4回開かれているかと思うんですが、その内容の概要を少し報告していただきたいなと思っているところなんです、いかがでしょうかという点が1つ。

それから、内航関係についても、かなり高齢化が進んでいる中で、実質的な確保・育成に向けた具体策を検討する必要があるのではないかと、そのための委員会を設けていただけないかというお話をしていたんですが、その辺の検討状況はいかがでしょう。

この2点についてお伺いしておきたいと思います。よろしくをお願いします。

【高田船員政策課長】 まず1点目の、外航日本人船員の量的確保の検討会、ご指摘のとおり、これまで4回開催をさせていただいております。確かに立ち上げるときに検討結果等につきましては、必要に応じ船員部会等でも報告をするというふうにさせていただいたところですが、いろいろと関係者のところでまだ議論をしている途中ということでございますので、報告のタイミングをどうするかは検討してまいりたいと思います。関係者の中では、今の段階で船員部会に報告をしようという話にはなっておりませんので、今後、議論の進みぐあいにより、また折を見て検討してまいりたいというふうに我々としては考えているところでございます。

また、内航の船員の確保については、度々この船員部会でも労働側委員より意見が出たところでございますが、そのたびに同じお答えをさせていただいているんですけれども、内航の船員の確保についてはこれまで何度も述べてきたとおり、さまざまな政策をとっているところでございまして、今後、新たにどういう政策が考えられるのかというある程度見通しもないままただ会議を開くということも、どういうことをやっていくかが見えないとどういうメンバーで開くべきかということもございますので、そこら辺は、どういうところを今後やっていくかということを見据えながら、またご相談をしてみたいとい

うことで、今までと同じ答えで恐縮でございますが、そのように考えております。

【立川臨時委員】 まず、外航関係ですけれども、具体的な結論が出るころまではいかなくてもよろしいのではないかなと考えている部分もありまして、例えば、こういう点で論議をしているとか、こういうところが問題なんだという論議の報告があってもいいのではないかと思うところがございますので、再度ご検討いただければと思うところです。

また、内航関係については、どういう解決策が、ないしは方向性が見えたらというようなお話もありましたけれども、逆に、方向性を見出すために官労使が協力して論議をするという面もあるのではないかというふうに思いますので、再度ご検討いただきたいというふうに思うところです。よろしく願いいたします。

【野川部会長】 ご要望ということで、よろしく願いいたします。

ほかにございますでしょうか。

【平岡臨時委員】 この場でフェリー、旅客船の航路の存続ということで、再三お話をしているんですけれども、高速道路とか橋とかと並行する航路について、予算編成とか具体的な支援が全く見えてこない中で、先般、トラックについては高速道路料金の通行割引ということで、250億円の補正がついたということですのでけれども、フェリー、旅客船の航路存続に対する具体的な支援策ということで、海事局として今後どのようなことが考えられるのか、具体策があれば教えていただきたい。

【高田船員政策課長】 申しわけありません。本日、担当課も来ておりませんので、今日またそういうご意見が出たことはお伝えさせていただきたいと思います。

【野川部会長】 そういうことでよろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。

【立川臨時委員】 8月でしたか、6級の第2種、機関関係の研修と申しますか、経験者に対する研修での6級海技士の免許の付与ができるということで、底引き網団体とか巻き網の団体ニーズを確認してということでお答えをいただいております、その確認に基づき、制度検討をさらに進めるというお話をいただいたところでございますけれども、確認状況ないしは進行状況を、中間的な報告としてでもしていただければと思います。よろしく願いいたします。

【石田企画調整官】 今ご質問いただきました件に関しましては、10月末に全日本海員組合さん、あと事業者の団体から共同で、ニーズがあるので制度を創設されたいというご要望をいただいております、その後、ニーズを確認しておるところでございます。制

度創設が可能かどうかという検討を進めているところでございますので、可能ということで判断ができましたらこの部会においてもご報告をさせていただきたいと思っております。

【立川臨時委員】 制度確立の方向に向かって動いているという理解でよろしいんですか。

【石田企画調整官】 おっしゃるとおりでございます。

【野川部会長】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局にお返ししたいと存じます。よろしく申し上げます。

【成瀬専門官】 次回の部会の開催日程につきましては、部会長にお諮りした上で、改めてご連絡をさせていただきます。

事務局からは以上でございます。

【野川部会長】 それでは、以上をもちまして交通政策審議会海事分科会第72回船員部会を閉会いたします。

本日はお忙しいところ、委員及び臨時委員の皆様にはご出席いただきましてありがとうございました。いささか早いんですが、よいお年をお迎えください。

— 了 —